

県立アリーナが第 67 回 BCS 賞に入選しました

一般社団法人日本建設業連合会が、毎年、国内の優良な建築物を表彰する「BCS 賞」において、県立アリーナが第 67 回 BCS 賞に入選しましたので、お知らせします。

■BCS 賞について（※一般社団法人日本建設業連合会の HP より）

「BCS 賞」は(中略)、昭和 35 年(1960 年)に創設され、以後、わが国の良好な建築資産の創出を図り、文化の進展と地球環境保全を寄与することを目的に毎年、国内の優秀な建築作品の表彰を行っております。 <https://www.nikkenren.com/kenchiku/bcs/>

■第 67 回 BCS 賞の概要（※一般社団法人日本建設業連合会の HP 及び募集要項より）

- 対象建築物は、国内において建築された建築物ないし建築群で、2026 年 4 月 30 日時点において供用開始後 1 年以上を経過（2025 年 4 月 30 日までに供用開始）したもの。
- 第 67 回 BCS 賞には、75 件の応募がありました。
- BCS 賞の選考では、選考委員 12 名による第一次選考を実施し、通過した作品に対して、選考委員による現地調査と学識委員による専門分野評価を実施します。現地調査における建築主、設計者、施工者等からの実際の作品に即した説明や質疑を踏まえ、選考委員全員による合議での厳正かつ詳細な審査が行われ、受賞作品 15 件を決定しました。
- BCS 賞の表彰は、受賞した建築物の建築主、設計者及び施工者（ただし、分離発注された設備工事、造園工事等の施工者は含まない）の三者に対して行う。

■県立アリーナに対する講評

【瀬戸内の風景と連続するたおやかで優美なアリーナ】

高松駅にほど近く、高松港に面する「瀬戸内の玄関口」に位置し、日常的に誰もが気軽に訪れることができる公園のようなアリーナである。やわらかく 3 つに分節された 1 枚のたおやかな大屋根が海や空からも認識できるランドマークとなり、瀬戸内海の風景に馴染む、地域の誇りとなるアリーナの誕生である。



©Ken'ichi Suzuki

＜参考：県立アリーナについて＞

- 竣工/開館 令和 6 年 11 月 29 日 / 令和 7 年 2 月 24 日
- 設計 (有)SANAA 事務所
- 施工 (建築)大林組・合田工務店・営組特定 JV、(電気)四電工・三和電業 JV、(給排水)三宅産業・織田設備 JV、(空調)三建設備工業・三喜工事・雉島工業 JV
- 来場者数 開館(R7.2.24)～R8.3月まで 約84万人
令和8年度(R8.4.1)～R8.5月末まで 約18万人
(※開館からの累計で延べ 100 万人を突破しました！)